

カルバマゼピン錠 100mg 「フジナガ」
カルバマゼピン錠 200mg 「フジナガ」
カルバマゼピン細粒 50% 「フジナガ」

【この薬は？】

販売名	カルバマゼピン錠 100mg 「フジナガ」 CARBAMAZEPINE TABLETS 100mg “FUJINAGA”	カルバマゼピン錠 200mg 「フジナガ」 CARBAMAZEPINE TABLETS 200mg “FUJINAGA”	カルバマゼピン細粒 50% 「フジナガ」 CARBAMAZEPINE FINE GRANULES 50% “FUJINAGA”
一般名	カルバマゼピン Carbamazepine		
含有量	1錠中 100mg	1錠中 200mg	1 g 中 500mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗てんかん剤・躁状態治療剤に属するお薬です。

- ・この薬は、脳内の神経の過剰な興奮をしずめて、てんかん発作を抑えます。また、鎮静作用などにより過剰な気分の高まりを抑えます。顔面の三叉神経の異常な興奮を抑え、三叉神経痛の発作を軽減します。
- ・次の病気の人に処方されます。

1. 精神運動発作、てんかん性格およびてんかんに伴う精神障害、てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）
2. 躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態
3. 三叉神経痛

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にカルバマゼピンまたは三環系抗うつ剤に対し過敏症のあった人
- ・重篤な血液障害のある人
- ・第Ⅱ度以上の房室ブロック、高度の徐脈（50 拍/分未満）のある人
- ・ポルフィリン症の人
- ・次の薬を使用している人

ボリコナゾール、タダラフィル（アドシルカ）、リルピビリン、マシテンタン、チカグレロル、グラゾプレビル、エルバスビル、ドルテグラビル・リルピビリン、ダルナビル・コビシスタット、アルテメテル・ルメファントリン、ドラビリン、イサブコナゾニウム、カボテグラビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、レジパスビル・ソホスブビル、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル、ミフェプリストン・ミソプロストール、リルピビリン・テノホビル アラフェナミド・エムトリシタビン、ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド、ダルナビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心不全、心筋梗塞等の心疾患または第Ⅰ度の房室ブロックのある人
- ・排尿困難または眼圧亢進等のある人
- ・薬物過敏症の人
- ・甲状腺機能低下症の人

- ・腎臓に障害のある人
- ・肝臓に障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [ボリコナゾール (ブイフェンド)、タダラフィル (アドシルカ)、リルピピリン (エジュラント)、マシテンタン (オプスミット)、チカグレロル (ブリリンタ)、グラゾプレビル (グラジナ)、エルバスビル (エレルサ)、ドルテグラビル・リルピピリン (ジャルカ)、ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス)、アルテメテル・ルメファントリン

(リアメット)、ドラビリン (ピフェルトロ)、イサブコナゾニウム (クレセンバ)、カボテグラビル (ボカブリア)、ソホスブビル・ベルパタスビル (エプクルーサ)、レジパスビル・ソホスブビル (ハーボニー)、ニルマトレルビル・リトナビル (パキロビッド)、エンシトレルビル (ゾコーバ)、ミフェプリストン・ミソプロストール (メフィーゴ)、リルピピリン・テノホビル アラフェナミド・エムトリシタビン (オデフシィ)、ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド (ビクタルビ)、ダルナビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド (シムツーザ)、エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド (ゲンボイヤ)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

【精神運動発作、てんかん性格およびてんかんに伴う精神障害、てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）の場合】

〔成人の場合〕

	初回量	通常量	最高量
1 日量	200～400mg	*600mg	**1200mg
飲む回数	1 日 1 ～ 2 回	1 日量を数回に分けて飲みます	1 日量を数回に分けて飲みます

*至適効果が得られるまで（通常 1 日 600mg）徐々に増量されます。

**症状により 1 日 1200mg まで増量されることがあります。

〔小児の場合〕

1 日量	年齢、症状に応じて 100mg～600mg
飲む回数	1 日量を数回に分けて飲みます

〔躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態の場合〕

〔成人のみ〕

	初回量	通常量	最高量
1 日量	200～400mg	*600mg	**1200mg
飲む回数	1 日 1 ～ 2 回	1 日量を数回に分けて飲みます	1 日量を数回に分けて飲みます

*至適効果が得られるまで（通常 1 日 600mg）徐々に増量されます。

**症状により 1 日 1200mg まで増量されることがあります。

〔三叉神経痛の場合〕

〔成人の場合〕

	初回量	通常量	最高量
1 日量	200～400mg	600mg	*800mg
飲む回数	1 日量を数回に分けて飲みます	1 日量を数回に分けて飲みます	1 日量を数回に分けて飲みます

*症状により 1 日 800mg まで増量されることがあります。

〔小児の場合〕

年齢、症状に応じて適宜減量されます。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

中枢神経障害（振戦、興奮、けいれん、意識障害、昏睡等）や横紋筋融解症（手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〔精神運動発作、てんかん性格およびてんかんに伴う精神障害、てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）の治療の場合〕

- ・この薬の使用中に自動車の運転などの危険を伴う機械を操作してよいかは、必ず医師に相談してください。
眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、これらの症状があらわれた場合には、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・てんかん重積状態があらわれることがあるので、自分の判断で減量したり、やめたりしないでください。

〔躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態および三叉神経痛の治療の場合〕

眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・薬の飲み始めの時期に、眠気、悪心・嘔吐（おうと）、めまい、複視、運動失調等の症状があらわれやすいので、このような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。
- ・この薬の使用中は、定期的に肝機能検査、腎機能検査、血液検査、視力検査が行われることがあります。
- ・妊娠中の人、または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血、汎血球減少、白血球減少、無顆粒球症、貧血、溶血性貧血、赤芽球癆、血小板減少 さいせいふりょうせいひんけつ、はんけつきゅうげんしょう、はつけつきゅうげんしょう、むかりゅうきゅうしょう、ひんけつ、ようけつせいひんけつ、せきが	突然の高熱、発熱、体がだるい、寒気、出血しやすい、出血が止まりにくい、めまい、頭痛、鼻血、白目が黄色くなる、耳鳴り、喉の痛み、歯ぐきからの出血、唾液・痰に血が混

きゅうろう、けっしょうばんげんしょう	じる、血を吐く、息切れ、動悸（どうき）、あ おあざができる、皮膚が黄色くなる、尿の色 が濃くなる
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮 膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、多形紅斑、急性汎発性発 疹性膿疱症、紅皮症（剥脱性皮膚 炎） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（トキシ ック・エピダーマル・ネクロリシス：ティーイーエ ス）、ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブ ンス・ジョンソンしょうこうぐん）、たけいこうは ん、きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうし ょう、こうひしょう（はくだつせいひふえん）	発熱、発熱をしばしば伴う、しばしばフケの ようなものがはがれ落ちる、目の充血やただ れ、唇や口内のただれ、喉の痛み、関節の痛 み、皮膚が広い範囲で赤くなり破れやすい水 ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺 縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったもの が多発する、皮膚が広い範囲で赤くなる、と ころどころに小さな膿をとともなう発疹が出 る、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさ ぶたのようなものを付着しそれがはがれ落ち る
全身性エリテマトーデス（SLE）様 症状 ぜんしんせいエリテマトーデス（エスエルイー）ようし ょうじょう	発熱、体がだるい、体重が減る、顔の赤い発 疹、関節の痛み
過敏症症候群 かびんしょうしょうこうぐん	発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、 股の付け根など）のはれ、皮膚が広い範囲で 赤くなる、全身性の発疹
肝機能障害、黄疸 かんきのうしょうがい、おうだん	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食 欲不振、吐き気、体がかゆくなる、白目が黄 色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃く なる
急性腎障害（間質性腎炎等） きゅうせいじんしょうがい（かんしつせいじんえん など）	発熱、体がだるい、むくみ、吐き気、嘔吐、 腹痛、関節の痛み、発疹、下痢、尿量が減る
PIE症候群、間質性肺炎 ピーアイイーしょうこうぐん、かんしつせいはいえん	発熱、咳、息切れ、息苦しい
血栓塞栓症 けっせんそくせんしょう	脱力、まひ、激しい頭痛、吐き気、嘔吐、胸 の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突 然の息切れ、激しい腹痛、お腹が張る、足の 激しい痛み
アナフィラキシー アナフィラキシー	ふらつき、喉のかゆみ、動悸、息苦しい、全 身のかゆみ、じんま疹
うっ血性心不全、房室ブロック、洞 機能不全、徐脈 うっけつせいしんふぜん、ぼうしつブロック、どうき のうふぜん、じょみやく	疲れやすい、めまい、立ちくらみ、気を失 う、息苦しい、息切れ、脈が遅くなる、脈が とぶ、むくみ、体重が増える、
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 （SIADH）	けいれん、食欲不振、意識の低下、意識の消

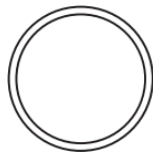
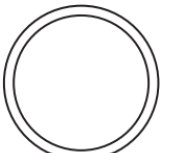
こうりようホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん（エスアイエーディーエイチ）	失、吐き気
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、頭痛、首のうしろがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、吐き気、嘔吐
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、体のこわばり、ぼーっとする、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、呼吸数が増える、手足のふるえ、脈が速くなる、血圧が上昇する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、高熱、突然の高熱、発熱をしばしば伴う、体がだるい、疲れやすい、力が入らない、寒気、ふらつき、脱力、まひ、体がかゆくなる、体のこわばり、むくみ、汗をかく、食欲不振、体重が減る、体重が増える、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、けいれん、出血しやすい、出血が止まりにくい
頭部	頭痛、激しい頭痛、めまい、立ちくらみ、ぼーっとする、気を失う、意識の低下、意識の消失、首のうしろがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる
顔面	顔の赤い発疹、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	咳、喉の痛み、喉のかゆみ、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐、歯ぐきからの出血、唾液・痰に血が混じる、血を吐く、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい
胸部	動悸、息切れ、突然の息切れ、息苦しい、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、呼吸数が増える
腹部	腹痛、激しい腹痛、お腹が張る
手・足	手足のふるえ、足の激しい痛み、関節の痛み、脈が速くなる、脈が遅くなる、脈がとぶ
皮膚	全身のかゆみ、発疹、全身性の発疹、皮膚が広い範囲で赤くなる、ほぼ全身の皮膚が発赤する、粘膜のただれ、皮膚が広い範囲で赤くなり破れやすい水ぶくれが多発、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、フケやかさぶたのようなものを付着しそれがはがれ落ちる、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる

尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る
便	下痢
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	カルバマゼピン錠 100mg「フジナガ」	カルバマゼピン錠 200mg「フジナガ」	カルバマゼピン細粒 50%「フジナガ」
性状	白色の素錠	白色の素錠	白色の細粒
外形			—
			—
			—
識別コード	 L100	 L200	—
大きさ（約）	直径：8.0mm 厚さ：3.1mm 質量：0.14g	直径：9.0mm 厚さ：4.0mm 質量：0.28g	—

【この薬に含まれているのは？】

販売名	カルバマゼピン錠 100mg「フジナガ」	カルバマゼピン錠 200mg「フジナガ」	カルバマゼピン細粒 50%「フジナガ」
有効成分	1錠中カルバマゼピン 100mg	1錠中カルバマゼピン 200mg	1g 中カルバマゼピン 500mg
添加剤	結晶セルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	結晶セルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	トウモロコシデンプン、D-マンニトール、ヒプロメロース

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：藤永製薬株式会社 (<https://www.fujinaga-pharm.co.jp/>)

販売会社：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp/>)

製品情報センター

電話：0120-693-132

受付時間：9:00～17:30

（土、日、祝日、当社休日を除く）